

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称： 綾瀬市障害者自立支援センター ばらの里	種別： 生活介護	
代表者氏名：津田 郁	定員（利用人数）： 定員30名（利用人数30名）	
所在地：〒252-1106 綾瀬市深谷南2-7-2		
TEL：0467-77-6005	ホームページ： http://www.tomoni.or.jp/baranosato/index.html	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2012年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 県央福祉会		
職員数	常勤職員：4名 非常勤職員： 18 名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	看護師：3名 介護福祉士：6名	
	社会福祉士：1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	事務室 1	シャワー室 1
	食堂 1	トイレ 3
	和室 1	
	休憩室 1	
	作業室 3	
	医務室 1	

③理念・基本方針

- 県央福祉会の理念
 - ・ ソーシャルインクルージョン（共生社会）を目指します。
 - ・ 先駆的で開拓的な事業を展開します。
- 綾瀬市障害者自立支援センターばらの里の方針
 - ・ 設置主体である綾瀬市と協議のうえ、地域の要請である「重度障がい者（特に重症心身障がい者）の受け皿」たり得るべく、環境整備を推進します。
 - ・ 今年度からの5年間で民設民営化の準備を進める予定です。事業省の在り様が引き続き地域の期待に応えうるものとなるよう、地域の声を丁寧に聞き取り、積極的に提言します。
 - ・ 地域の知的障がい、身体障がい・精神障がいをもつ当事者、およびご家族等からの相談に応じる等、望む限り地域生活を送ることができる様関係機関に働きかけることを運営の基本方針として事業を推進します。

④施設・事業所の特徴的な取組

・綾瀬市としての公式マスコットキャラクター「あやびい」に関連する缶バッジをはじめとしたグッズ（付随して自主製品）の販売活動、及び同キャラクターを契機に広がりを見せつつある行政・教育等一の関係機関とのネットワーク拡大、イベントへの積極的参加による地域貢献、地域情報の収集並びに事業所情報の発信により、綾瀬市にばらの里あり。と認知される取組みを推進します。

・今後理想を実現するために①好奇心②自信③勇気④一度決心したこと続ける一貫性これらを利用者さんが抱けるように、継続でできるよう支援していきます。

・同様に職員間でも同じ職場で働く同志として共に高めあう集団となれるようにチームワークの効率向上を追及していきます。

*ばらの里：自閉症を中心とした知的障がいの方の支援機能

*あやせラディーチェ（従たる事業所）：身体障がい者デイサービス機能

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月16日（契約日）～ 令和4年11月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)利用者・家族の意向を反映した支援を提供しています

利用者の支援計画を作成するにあたり、事前にアンケートを利用者・家族に文書で提出してもらっており、アセスメントの内容を踏まえながら、利用者が選択できる支援メニューを増やしています。これにより、実態に沿った一貫性のある支援計画の提供に努め、事業所が利用者の社会参加の礎となることを目指しています。資格の取得を希望していた利用者に学習方法などの情報提供を支援し自立に向けたサポートも行っています。

2)職員が連携してチームとして支援しています

ばらの里の個別支援会議は職員のほぼ全員の出席で開催し、「根拠ある支援」を目指して職員の意見が活発に交わされています。「どうしたら、自立した生活が営めるのか」、「自立」の意味や支援の目的を家族のニーズとすり合わせ、職員間で一致させる取組など、職員間の話し合いを大切にしています。職員からは、「職員が意見を言い合える」「職員間の信頼関係が良好」「職員同士で連携がとれている」など同様の意見が多く出されています。地域限定職員（常勤職員）など核となる職員の配置により安定的・継続的な支援の実現に努め、会議を通じて職員間のチームワークを醸成し、組織の強みとしています。

3)開かれた事業所運営に取り組んでいます

人材センターを通じて創作活動のボランティアの紹介を依頼し、油絵制作のボランティア活動が実現しています。今後も多岐にわたるボランティア受け入れを検討しています。実習生の受け入れについては、専門資格を有する職員が不在であったため、実績はありませんが、要件を満たせば、実習生の受け入れを開始する意向であり、受け入れへの体制整備を進めています。地域社会と事業所をつなぐボランティアや実習生受け入れによる福祉人材の育成について今後も推進していくことが期待されます。

4)働きやすい職場環境作りに取り組むことが期待されます
必要な人材確保や人材育成に課題があり、職員は働きやすい環境にあると認識していません。法人からの支援も十分と思われていません。管理者と職員、法人と事業所の課題認識と対策協議により、一体となった協力体制が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の評価を受けるにあたり、日々の支援を用意された評価基準に沿って確認することが出来ました。出来る限り利用者さん・ご家族の意向が出しやすい環境を設定し・独自のツールを用意したこと。これまで培ったチーム作りを活かしていることが確認でき満足できています。反面、職員の専門性を高める取り組みである「研修」への参加の計画性と実施状況ではその必要性を改めて認識することが出来ました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり